

兵たんは戦争そのもの



質問する小池見議員＝7月29日、参院安保法制特委

兵たん＝弾薬や燃料などの補給、武器・弾薬・兵員などの輸送等の活動

「対テロ戦争の現場では兵站（へいたん）ほど狙われやすい。これが実態だ」一。日本共産党の小池議員は参院安保法制特別委員会で、兵站がテロの格好の標的となったアフガニスタン戦争やイラク戦争の実態を突きつけて、これまでの歯止めを外して「戦闘地域」での兵站（後方支援）を行う戦争法案の危険性を浮き彫りにしました。

アフガニスタンでの米陸軍の補給任務中の死傷者数（07年度）

	輸送回数	死傷者数	比率
燃料	897回	38人	1人/24回
水	438回	15人	1人/29回

「命がけ」と米軍文書

アフガン、イラクでの補給任務中の死傷者は、2003～07米会計年度の5年間、米陸軍だけで3046人に達しています。小池氏は「戦場での燃料・水の補給は命がけ」と書いた米陸軍環境政策研究所のレポートを示し、「兵站がどれほど危険か認識しているのか」とただしました。

「法案の記述はない」（防衛相）

安倍首相は「戦闘行為が発生しないと見込まれる場所を実施区域に指定した上で（自衛隊は）後方支援を行う」と答弁しました。しかし、小池氏が「法律にはそんなことは一言も書いていない」とただすと、中谷元・防衛相は「法案の記述はない」と認めました。

対テロ戦争では一瞬で戦闘現場に

小池氏はさらにアフガンでは、米軍以外の軍隊の犠牲者の6割から8割が道路に仕掛けられたIED（即席爆発装置）によって死亡したことを示し、「『戦闘現場』でなくても、突然の爆発で吹き飛ばされる。一瞬にして戦闘現場になるような対テロ戦争での兵站で『安全な場所で行うから大丈夫』などという議論が成り立つはずがない」とただし、戦争法案の廃案を強く迫りました。

話題
沸騰

「とても迫力あった」「見ていてスカッとした」



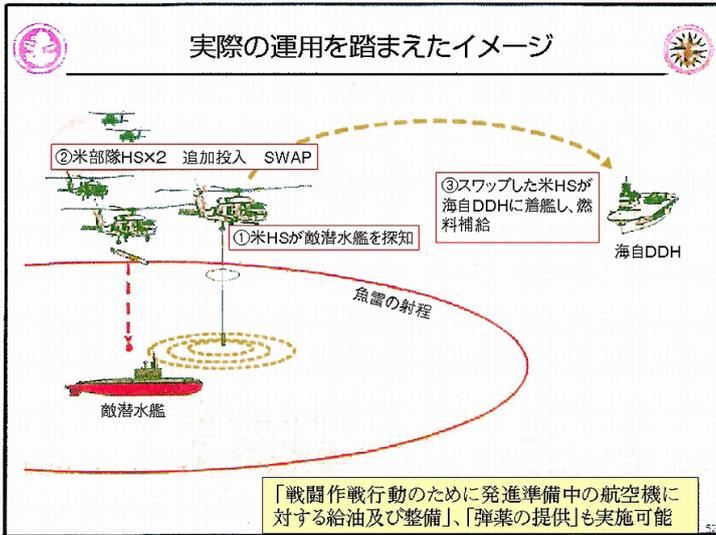
動画でご覧ください



戦争法案 小池質問 検索

裏面へつづく➡

米軍の武力行使と一体



海自文書を暴露

米軍ヘリが海自ヘリ空母の艦上で給油を受けながら対潜水艦作戦を行う。海上自衛隊が戦争法案による米軍等への支援活動の拡大を前提に、このような事例を想定していたことが判明しました。日本共産党の小池晃議員が、海自幹部学校作戦法規研究室が作成した部内向け説明資料「平和安全法制案について」（6月）を独自に入手し、7月29日の参院安保法制特別委員会で明らかにしました。

米軍との共同作戦可能

防衛相 認める

小池氏の追及に中谷元・防衛相は「対潜水艦作戦における後方支援の一つをイメージとして表したもの」と認めました。資料では、重要影響事態法と国際平和支援法（海外派兵恒久法）の2法案の「実際の運用を踏まえたイメージ」として、米軍の対潜哨戒ヘリが敵潜水艦の探知・攻撃を行い、敵潜水艦の魚雷の射程外では海自のヘリ空母（DDH）が米軍ヘリに燃料補給で支援する図が描かれています。（上図）

戦争法案でこのような共同作戦が可能になるかとの小池氏の質問に、防衛相は「魚雷等の攻撃を受けない安全な場所で活動を行う」と認めました。小池氏は、国会に一度も示されることがない事例が自衛隊内で先取りで説明されていることについて「重大問題だ」と批判し、陸自、空自の資料とあわせて国会に提出するよう要求しました。



明白な憲法違反

さらに小池氏は、給油を受けた米軍ヘリが海自艦上から再び攻撃へ飛び立つことも可能かと追及。防衛相は「戦闘現場」以外での実施を否定しませんでした。小池氏は「世界中の誰が見ても、米軍と一緒に戦争をやっているとしかみえない。明白な憲法違反だ」と断じました。

「戦争法案」ストップへ力を合わせましょう

参院愛知選挙区

すやま初美
日本共産党



●戦争法案連続追及中！「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。
（日刊紙 3497円 / 日曜版 823円）

日本共産党は、立場の違いをこえて戦争法案反対の一点での共同をよびかけ、草の根の運動に取り組んでいます。戦争法案廃案を求める署名にご協力ください。

署名用紙
ダウンロード

JCP

検索